

介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名 生活協同組合パルシステム神奈川
 研修事業の名称 パルシステム神奈川介護職員初任者研修

1 職務の理解 (6 時間)					
項目名	時間 (h)	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要			
① 多様なサービスの理解	3	<添削課題番号>1(1)問題1～5 <添削課題出題ポイント> ・介護保険サービス ・介護保険外サービス			
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	<添削課題番号>1(2)問題1～4 <添削課題出題ポイント> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ ・ケアプラン作成からサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ、他職種など、地域の社会資源との連携			
合計	6				
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9 時間)					
項目名	時間 (h)	通学 時間	通信 時間	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 人権と尊厳を支える介護	4	0	4	2(1) 問題1 ～ 問題5	<添削課題出題ポイント> ・QOL ・WHO ・SF-36 ・ノーマライゼーション ・尊厳の保持と自立支援 ・虐待の定義 ・高齢者虐待 ・プライバシーを傷つける介護のポイント
② 自立に向けた介護	5	0	5	2(2) 問題1 ～ 問題5	<添削課題出題ポイント> ・自立支援 ・自己選択・自己決定 ・介護職の在り方 ・介護予防 ・地域支援事業等
合計	9	0	9		

3 介護の基本 (6 時間)					
項目名	時間 (h)	通学時間	通信時間	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護職の役割、専門性、多職種との連携	1.5	0	1.5	3(1) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> ・介護の基本視点 ・家族介護と専門職の介護の違い(専門性) ・介護職の基本的役割 ・多職種との連携 ・地域包括ケアシステム
② 介護職の職業倫理	1.5	0	1.5	3(2) 問題1 ～ 問題3	<添削課題出題ポイント> ・日本介護福祉士会倫理綱領 ・利用者のプライバシー ・介護職の倫理 ・社会福祉士及び介護福祉士法 ・4つの倫理的判断の視点等
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	0	1.5	3(3) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> ・リスクマネジメント ・事故予防 ・感染対策 ・安全対策
④ 介護職の安全	1.5	0	1.5	3(4) 問題1 ～ 問題3	<添削課題出題ポイント> ・介護職の健康管理（腰痛予防、感染予防） ・ストレスマネジメント ・ストレッサー ・労働者の心の健康の保持増進の指針 ・メンタルヘルスケア ・こころの健康づくり計画 ・腰痛予防等
合計	6	0	6		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）					
項目名	時間 (h)	通学 時間	通信 時間	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護保険制度	3	0	3	4(1) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・各サービスや地域支援の役割 ・財源構成と保険料負担の大枠 ・サービスのしくみ、種別、内容 ・要介護認定、審査、判定 ・介護保険審査会 ・介護サービス事業者の指定・更新 ・高齢化比率 ・介護保険制度の目的、保険者、被保険者、財源、保険料額等
② 医療との連携とリハビリテーション	3	0	3	4(2) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・医行為の考え方 ・介護福祉士等が行う医行為 ・リハビリテーション ・作業療法士 ・介護保険法等
③ 障害福祉制度及びその他制度	3	0	3	4(3) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な障害者福祉サービス ・サービスのしくみ、種別、内容 ・サービス利用の流れ ・権利擁護 ・成年後見制度、個人情報保護法、日常生活自立支援事業 ・生活保護の原理、原則 ・障害者総合支援法 ・憲法と生活保護制度・成年後見制度 ・高齢者虐待防止法 ・重度訪問介護、同行援護、就労継続支援、共同生活援助、自立支援医療給付 ・生活保護の基本原理 ・日常生活自立支援事業等
合計	9	0	9		

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）					
項目名	時間 (h)	通学 時間	通信 時間	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護におけるコミュニケーション	3	0	3	5(1) 問題1 ～ 問題5	<添削課題出題ポイント> ・共感、受容、傾聴、気付き ・家族の心理、葛藤の存在 ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点 ・コミュニケーションの技法
② 介護におけるチームコミュニケーション	3	0	3	5(2) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> ・記録の機能と重要性、主要なポイント ・記録の意味、目的、方法 ・事故報告書、裁判、ヒヤリハット ・サービス担当者会議 ・ケアカンファレンスの意義等
合計	6	0	6		
6 老化の理解（6時間）					
項目名	時間 (h)	通学 時間	通信 時間	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	0	3	6(1) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> ・加齢、老化に伴う変化（生理的変化） ・加齢、老化に伴う変化（心身の変化） ・社会面・身体面・精神面・知的能力面に着目した心理的特徴(社会的立場の喪失感、運動機能低下による無力感・羞恥心、知的機能低下による意欲の低下、感覚機能低下によるストレス・疎外感) ・高齢者が低栄養になりやすい原因と影響
② 高齢者と健康	3	0	3	6(2) 問題1 ～ 問題4	<添削課題出題ポイント> ・高齢者に多い疾病(症状・特徴・治療・生活上の留意点・疾病による症状や訴え) ・高齢者の意識障害 ・HDS-R ・廃用症候群、生活習慣 ・脳血管疾患、糖尿病、治療と予防 ・老人性高血圧の特徴等
合計	6	0	6		

7 認知症の理解(6時間)					
項目名	時間 (h)	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 認知症を取り巻く状況	1.5	0	1.5	7(1) 問題1 ～ 問題3	<p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念(利用者中心の考え方) ・中核症状・脳の病気 ・認知症の人との関わり ・認知症の不安や混乱と介護 ・認知症の感情記憶等
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	0	1.5	7(2) 問題1 ～ 問題3	<p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物忘れ」と「認知症」の違い ・認知症の原因疾患とその症状、ケアのポイント ・認知症の概念や原因 ・アルツハイマー型症候群 ・脳血管障害認知症 ・認知症の診断、評価スケール等
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	0	1.5	7(3) 問題1 ～ 問題4	<p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の中核症状、それに影響する要因 ・認知症の行動・心理症状(BPSD)、それに影響する要因 ・認知症の心理、行動のポイント ・認知症利用者への対応(生活環境、コミュニケーション)
④ 家族への支援	1.5	0	1.5	7(4) 問題1 ～ 問題3	<p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の気持ちや、家族が受けやすいストレス ・レスパイト
合計	6	0	6		

8 障害の理解 (3 時間)					
項目名	時間 (h)	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 障害の基礎的理解	0.75	0	0.75	8(1) 問題 1 ～ 問題 3	<添削課題出題ポイント> ・障害の概念 ・ICF ・障害者基本法 ・障害者保健証 ・個人の尊重 ・インクルージョン ・QOLの向上等
② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	0.75	0	0.75	8(2) 問題 1 ～ 問題 3	<添削課題出題ポイント> ・各障害の内容、特徴 ※精神障害、脳性まひ ・障害に応じた社会支援の考え方 ・障害の特性と介護上の留意点 ・脳性まひの定義とタイプ・症状 ・精神障害者手帳 ・統合失調症 ・アルコール依存症 ・聴覚障害 ・肢体不自由 ・内部障害等
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1.5	0	1.5	8(3) 問題 1 ～ 問題 3	<添削課題出題ポイント> ・障害の受容のプロセス ・レスパイト
合計	3	0	3		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (75 時間)

	項目名	時間 (h)	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
基本知識の学習	① 介護の基本的な考え方	2	0	2	9(1) 問題 1 ～ 問題 5	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護（ICFの視点、我流介護の排除） ・法的根拠に基づく介護 ・介護福祉士像 ・介護職の専門的役割 ・介護サービスの目標 ・日常と非日常 ・医療と介護のアプローチの違い ・「高齢者介護・自立支援システム研究会」報告書 ・厚労省「求められる介護福祉士像」等
	② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	0	4	9(2) 問題 1 ～ 問題 6	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶 ・感情と意欲の基礎知識、いきがい ・老化や障害への適応行動、阻害要因 ・こころと行動 ・からだの状態が与える影響 ・マズローの欲求階層説
	③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	0	4	9(3) 問題 1 ～ 問題 4	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造、機能 ・ボディメカニクス ・加齢と老化について
生活支援技術の講義・演習	④ 生活と家事	2	0	2	9 (4) 問題 1 ～ 問題 5	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の基礎知識 ・生活支援の考え方 ・生活支援の意味 ・家事支援に関する介護職の自問視点 ・買い物支援 ・衣、食、住、代行のサービス内容 ・家事援助等
生活支援技術の講義・演習	⑤ 快適な住環境整備と介護	2	0	2	9 (5) 問題 1 ～ 問題 4	<添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境の基礎知識 ・住宅改修、バリアフリー ・福祉用具に関する留意点と支援方法

<p>⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7.5</p>	<p>3.75</p>	<p>3.75</p>	<p>9 (6) 問題 1 ～ 問題 5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身じたく ・衣類選定 ・着脱の支援と基本 ・整容の行動と関連技術・ ・口腔ケア <p><演習内容>3.75 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱・身じたくを実技演習する。 ・整容行動・洗面の意義・効果を話し合う。 ・O J T等を想定した内容（現場の事例や最新情報等）で実施する。
<p>⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7.5</p>	<p>3.75</p>	<p>3.75</p>	<p>9 (7) 問題 1 ～ 問題 5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の意義 ・ボディメカニクス ・車いすの介助 ・杖歩行の介助 ・車いすからベッドへの介助 <p><演習内容>3.75 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法、利用者の自然な動きの活用、残存能力の活用、自立支援、重心、重力の働きの理解、ボディメカニクスの基本原理、移乗介助の具体的な方法(車イスへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車イス間の移乗、全面介助での車イス・洋式トイレ間の移乗)、移動介助(車イス・歩行器・つえ等)、視覚障害者の歩行介助、じょくそう予防、体位交換等を実技演習する。 ・O J T等を想定した内容（現場の事例や最新情報等）で実施する。
<p>⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7.5</p>	<p>3.75</p>	<p>3.75</p>	<p>9 (8) 問題 1 ～ 問題 5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義 ・栄養素と働き ・食事介助の手順 ・食事の姿勢 ・高齢者の誤嚥予防 ・口腔ケアの基礎知識 <p><演習内容>3.75 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事と姿勢、食事に関する福祉用具の活用と介助方法等を実技演習する。 ・O J T等を想定した内容（現場の事例や最新情報等）で実施する。

<p>⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7.5</p>	<p>3.75</p>	<p>3.75</p>	<p>9(9) 問題1 ～ 問題5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔を保つことの意義と目的 ・陰部の特徴と清拭時の留意点 ・入浴介助の注意事項 ・部分介助 ・全身清拭 <p><演習内容>3.75時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羞恥心や遠慮への配慮、体調の確認、全身清拭(身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方)、目、鼻腔、耳、爪の清潔方法、陰部清浄(臥床状態での方法)、全身浴、足浴、清拭等を実技演習する。 ・OJT等を想定した内容(現場の事例や最新情報等)で実施する。
<p>⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7.5</p>	<p>3.75</p>	<p>3.75</p>	<p>9(10) 問題1 ～ 問題4</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・介護職員が持つべき基本的視点 ・排泄を阻害するからだの要因 ・排泄用具の活用方法 <p><演習内容>3.75時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの確保、一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法、便秘の予防(水分の摂取量保持、食事内容の工夫/繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ)、排泄関連用具の使用方法を学ぶ(ポータブルトイレ、差し込み便器、尿器、紙おむつ)等を実技演習する。 ・OJT等を想定した内容(現場の事例や最新情報等)で実施する。
<p>⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7.5</p>	<p>3.75</p>	<p>3.75</p>	<p>9(11) 問題1 ～ 問題4</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠障害 ・寝室環境 ・就寝時の支援 <p><演習内容>3.75時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング、安眠のための介護の工夫、環境の整備(温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室)、安楽な姿勢、じょくそう予防等を実技演習する。 ・OJT等を想定した内容(現場の事例や最新情報等)で実施する。

	⑫ 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	2	0	2	9(12) 問題1 ～ 問題4 <添削課題出題ポイント> ・ターミナルケアの考え方 ・ターミナルケアにおける介護職の役割と多職種との連携 ・介護従事者の基本的態度・留意点 ・死にゆく人のこころの過程
生活支援技術演習	⑬ 介護過程の基礎的理解	7			<添削課題番号>9(13)問題1～問題4 <添削課題出題ポイント> ・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ <演習内容>3.75時間 ・個別援助計画書を作成する。 ・必要に応じた講義演習等の補講を含めて実施する。
	⑭ 総合生活支援技術演習	7			<添削課題番号>9(14)問題1～問題4 <添削課題出題ポイント> ・選択した2事例から問題を作成 Yさんへの今後の支援の方向性や介護サービスのポイント Yさんの車いすからベッドへの移乗介助における留意点 Oさんへの今後の支援の方向性や介護サービスのポイント Oさんのシーツ交換における留意点 <演習内容>3.75時間 ・事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題 ・事例は片マヒ、認知症の2事例を実施する。 ・必要に応じた講義演習等の補講を含めて実施する。
実習		0	—		
	合計	75			
10 振り返り (4時間)					
	項目名	時間 (h)	講義内容及び演習の実施方法		
	① 振り返り	2	<添削課題番号>10(1)問題1～問題3 <添削課題出題ポイント> ・研修を通じて学んだこと ・今後継続して学ぶこと ・根拠に基づく介護についての要点		
	② 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2	<添削課題番号>10(2)問題1～問題3 <添削課題出題ポイント> ・継続して学ぶこと ・研修終了後における継続的な研修について		
	合計	4			
全カリキュラム合計時間		130時間			

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること